



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### 「宴もたけなわ」の「たけなわ」とは？

今年は武漢ウイルスの影響から忘年会の減少が避けられず、飲食店の経営状況が心配される。忘年会といえば「宴会」だが、その宴会の終わりが近づくと、幹事が「宴はたけなわではございますが、予定の時間がまいりましたのでそろそろお開きとさせていただきます」などと言ったりする。

この場合の「たけなわ」を漢字では「酣」(音読みでは「かん」)、酒に甘いと書く。これはお酒を醸造させるときに次第に甘くなっていくという状態を表す言葉であり「物事の盛り」という意味がある。そのため、酒宴の席において、この「酣(たけなわ)」という言葉を使って締め言葉として使われるようになったのである。

### 「探偵小説」と「推理小説」

「推理小説」は、以前は「探偵小説」と呼ばれ、江戸川乱歩、横溝正史などの作品が多く読まれていたが、探偵の「偵」の字が昭和 21 年に当用漢字制限を受けたことから用いられなくなった。そのため、「探偵小説」という言葉が使えなくなり、「推理小説」という言葉が一般的になったのである。





# FIWA 通信「インベストラライフ」

現在は新設された常用漢字に「偵」の字が含まれるようになったため、「探偵小説」に戻すこともできるが、「推理小説」という言葉が定着したため、そのまま使われている。

(追記)世界初の推理小説は、1841年のエドガー・アラン・ポーの短編「モルグ街の殺人」といわれている。

## レオタード(の由来)

バレエやエアロビなどで着用される「レオタード」は、19世紀フランスの「Jules Leotard(ジュール・レオタード)」という当時人気があった曲芸師の名前が由来となっている。その男性が着ていた身体にピッタリとフィットした全身タイトの衣装のことを「レオタード」と呼ぶようになり、それが英語で「レオタード」と呼ばれるようになったのである。

また、このジュール・レオタードは、1859年に世界ではじめて空中ブランコをした人物としても知られている。



## 乃木希典の殉死について

今年(2020年)は明治天皇が崩御(1912年、明治45年7月30日、59歳)されて108年目になる。そして、天皇崩御の1ヶ月半後(9月13日)に乃木希典は殉死したのである(62歳)。

乃木の「殉死」に対して、当時の若手作家、志賀直

哉、芥川龍之介は「前近代的行為」として乃木の死を厳しく批判したが、夏目漱石、森鷗外はその著作の中で擁護している(夏目漱石「こころ」、森鷗外「興津弥五右衛門の遺書」)。徳富蘆花が乃





木殉死の報に接したときの「もっともだ、無理はない、もっともだ」という言葉が当時の文化人の考え方を代弁しているように思う。

ちなみに私自身は乃木希典を尊敬している。若いころは傍若無人に振る舞うこともあったが、ドイツ留学から帰国後は陸軍軍人として模範となる人物になった。とくに旅順攻囲戦後の「水師營の会見」では敗軍の将・ステッセルに対し、礼節をもって接し、欧米諸国からも「これぞ、真の武士道精神」と高く評価された。

### 皇居ランニングのきっかけ

皇居の周り約 5km のコースをランニングすることを「皇居ランニング」または「皇居ラン」と呼んでいる。このコースはアクセスが良く、オフィス街から近いことからランナーに人気があり、多くの人が走っている。そんな「皇居ラン」が流行ったきっかけは「銀座のホステス」だった。

元々のきっかけは昭和 39 年の東京オリンピック。エチオピアのアベベ・ビキラ選手がオリンピック史上初めて 2 連覇するなど大いに盛り上がり、ランニングブームが起こった。そのブームにより走り始めたのが銀座のホステスたちだった。

皇居と銀座は近く、銀座には多くのホステスが働いている。そんなホステスたちが参加したのが「皇居一周マラソン」だった。大会の主催者は銀座のクラブやバーの経営者。

昭和 39 年 11 月、約 40 人ものホステスが参加したこの大会は珍しかったこともあり、大々的にニュースで扱われた。これにより皇居の周りを走れることが一般の人に伝わった。そして、皇居の周りは信号もなく、とても走りやすいコースということで「皇居ラン」はブームとなり、現在まで長く続いている。

(追記) 当時開催された銀座ホステスの優勝タイムは 23 分台だったとか。5km を 23 分だと時速 13km になる。